

若者の恋愛観・結婚観調査

※出版物・記事等にデータを使用する際は「恋愛観調査2021(マッチングアプリなび調べ)」とご記載頂きますようお願い申し上げます。



出会いをナビゲーションする
マッチングアプリなび

調査概要

調査目的

- 若者の恋愛観、結婚観を明らかにする
- コロナが若者の恋愛に与えた影響力を明らかにする

調査方法

- インターネットによる調査
- 街頭調査(渋谷)

調査期間

- 2020年11月21日～2020年11月30日

調査対象

- 10代、20代の男女

回収数：1002人

10代男性	20代男性	10代女性	20代女性
267.18	249.22	253.82	231.78

※年代間においての人口比を実際と合わせるためにウエイトバック集計を行っている関係上、集計結果は小数点表記となっております。

※割合を出すにあたり、小数点第2位で四捨五入を行っております。

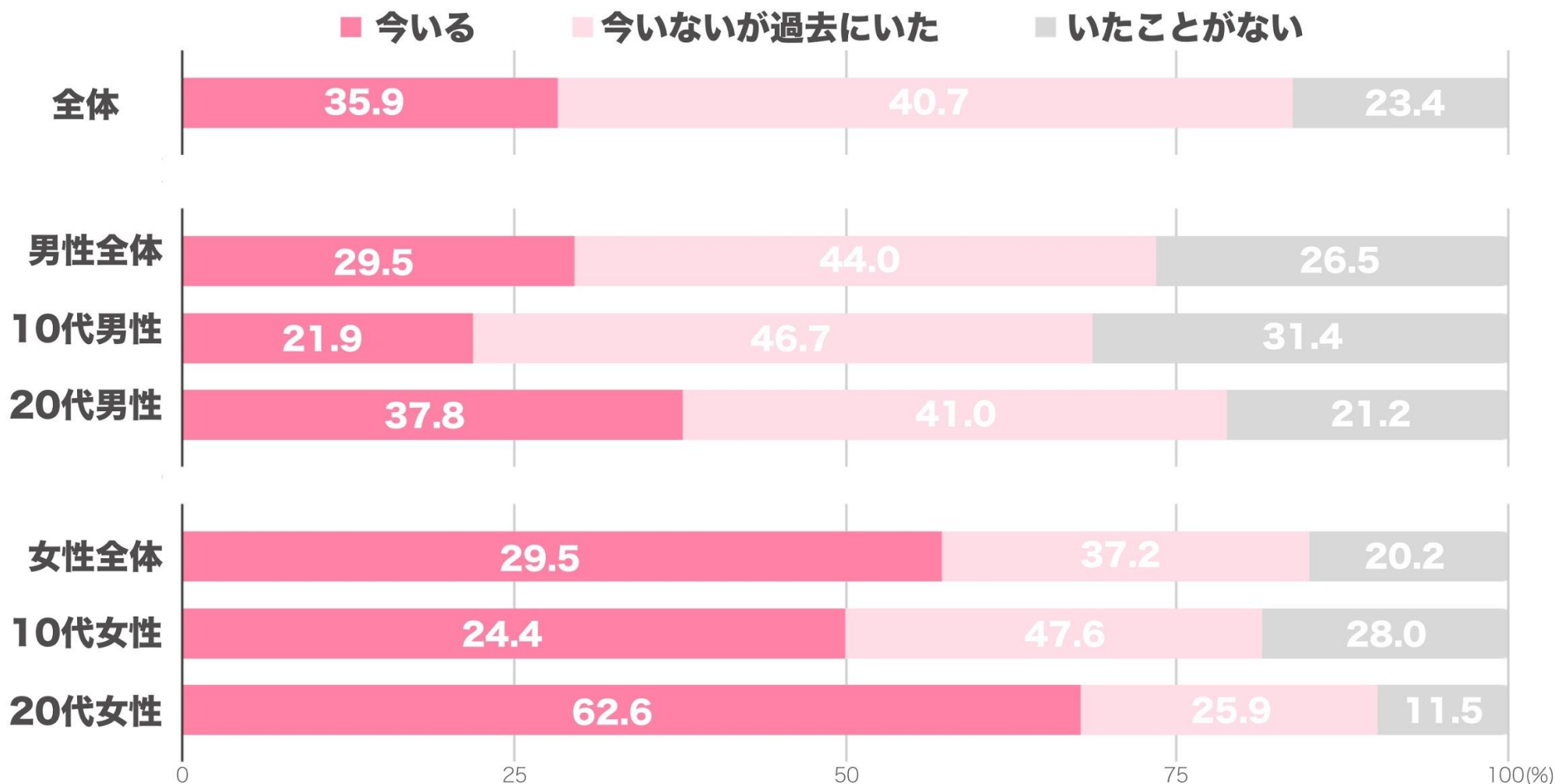
※参照元：<https://www.stat.go.jp/data/jinsui/2019np/index.html>



出会いをナビゲーションする
マッチングアプリ **なび**

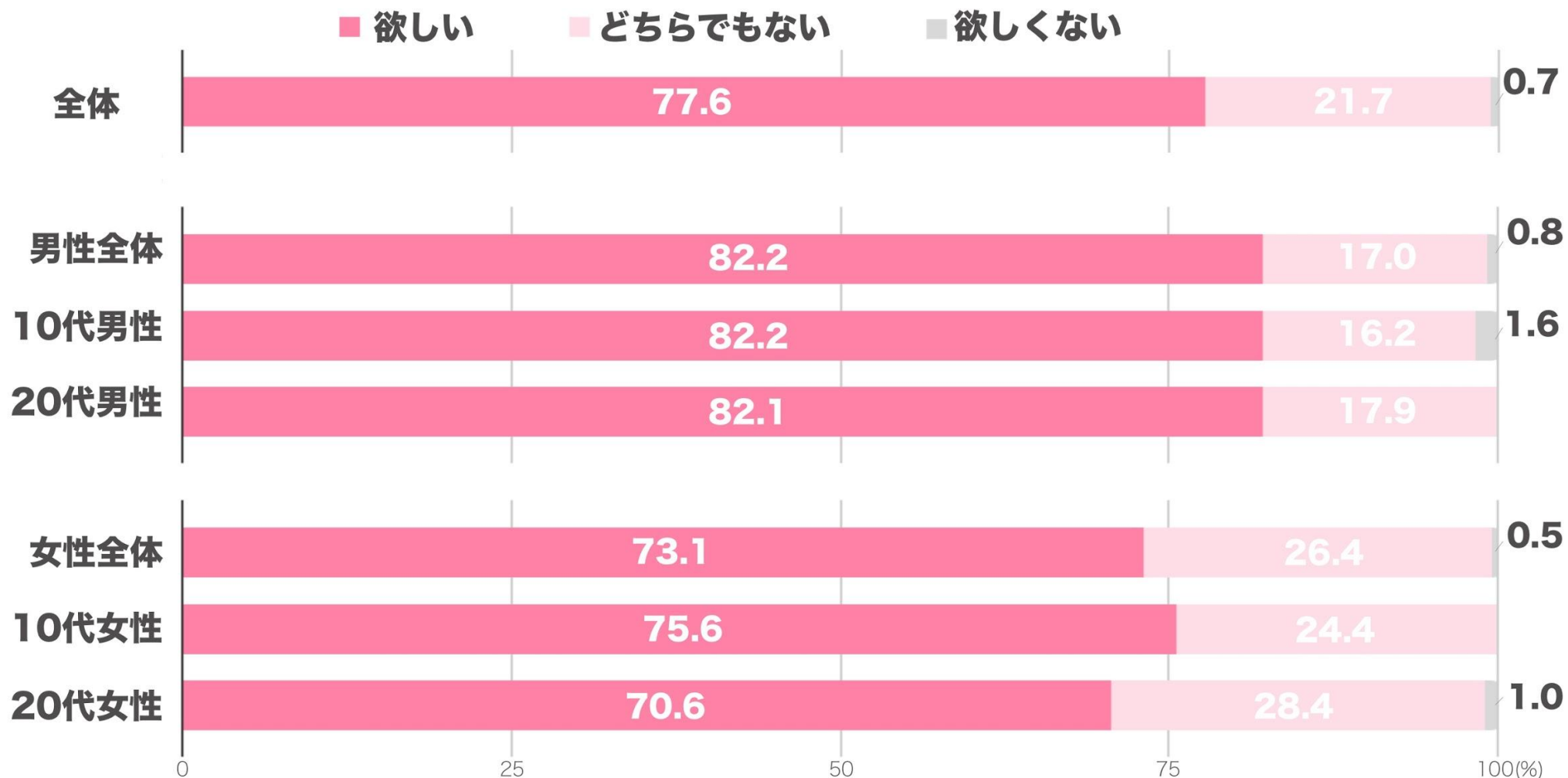
◇若者の恋愛傾向：恋人の有無の割合(単一回答：n=1002)

- 恋人がいる人の割合は35.9%
- 20代女性で付き合っている人は62.6%
- 付き合った経験がない人は全体で23.4%、男性26.5%(10代 31.4% 20代 21.1%)、女性20.2%(10代28.0% 20代11.5%)



◇若者の恋愛傾向：恋人を欲しいと思う人の割合(単一回答：n=970.5)

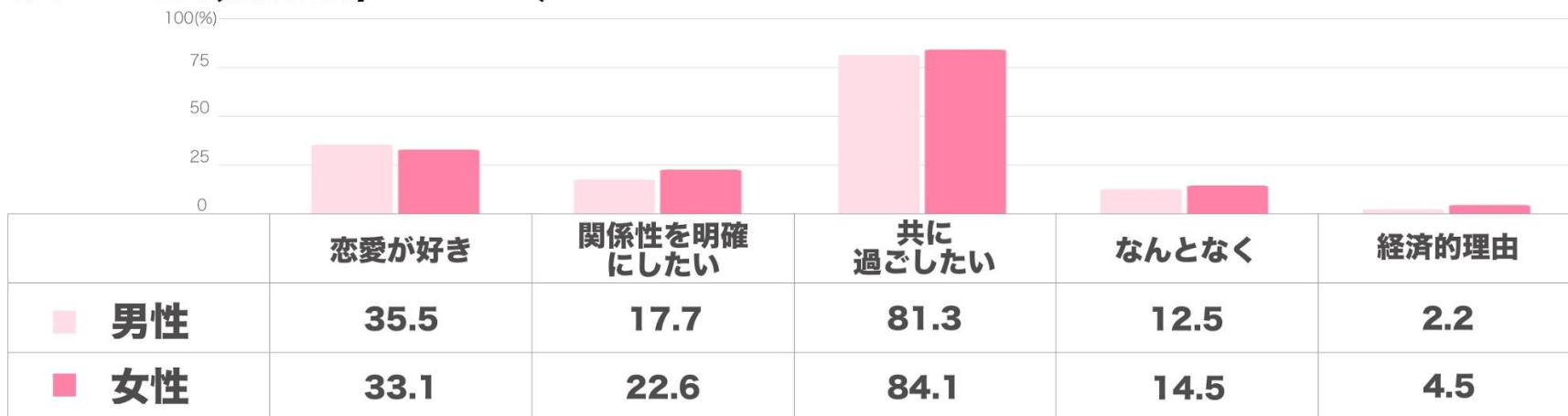
- 恋人がいた方がいいと思う人の割合は77.6%
- 男性の方が女性よりも平均して9.0ポイント恋人を望む傾向にある



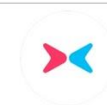
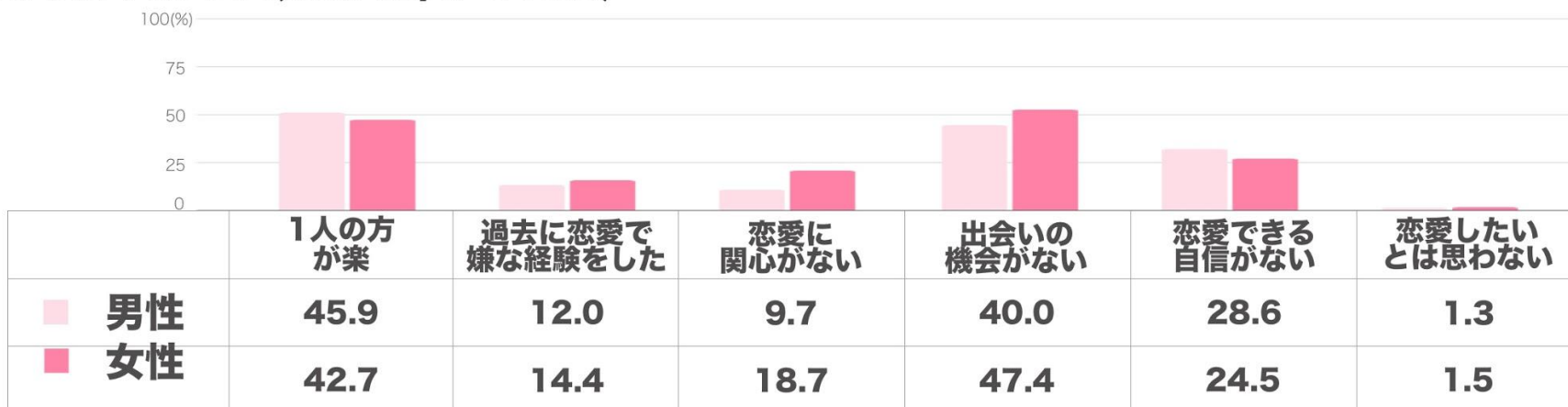
◇若者の恋愛傾向：恋人を作る理由・作らない理由

- 恋人を作りたい理由として最も支持を集めたのは「共に過ごしたい」で、男性：81.3%、女性：84.1%
- 恋人を作りにたくない理由として支持を集めたのは「1人の方が楽」が最も多く44.3%、僅差で次点に「出会いの機会がない」43.5%

恋人を作りたい理由(複数回答/n=970.5)



恋人を作りにたくない理由(複数回答/n=616.9)



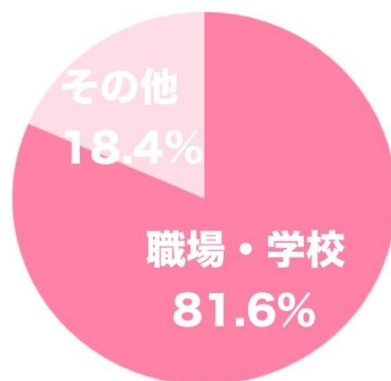
出会いをナビゲーションする

マッチングアプリ **なび**

◇若者の恋愛傾向：出会いのきっかけ(複数回答/n=786.3)

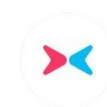
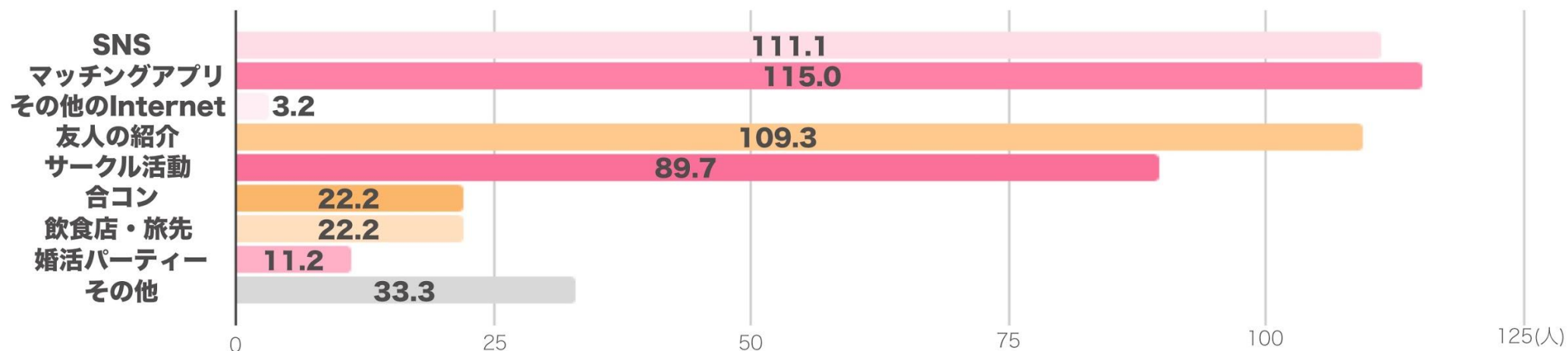
- 「職場・学校」での出会いが81.6%と圧倒的な数字を残す
- 上記以外での出会い方で最も多いのがネット経由の出会いで226.1ポイント
- ネット経由で最も多いのがマッチングアプリでの出会いで115ポイント

〈全体の割合〉



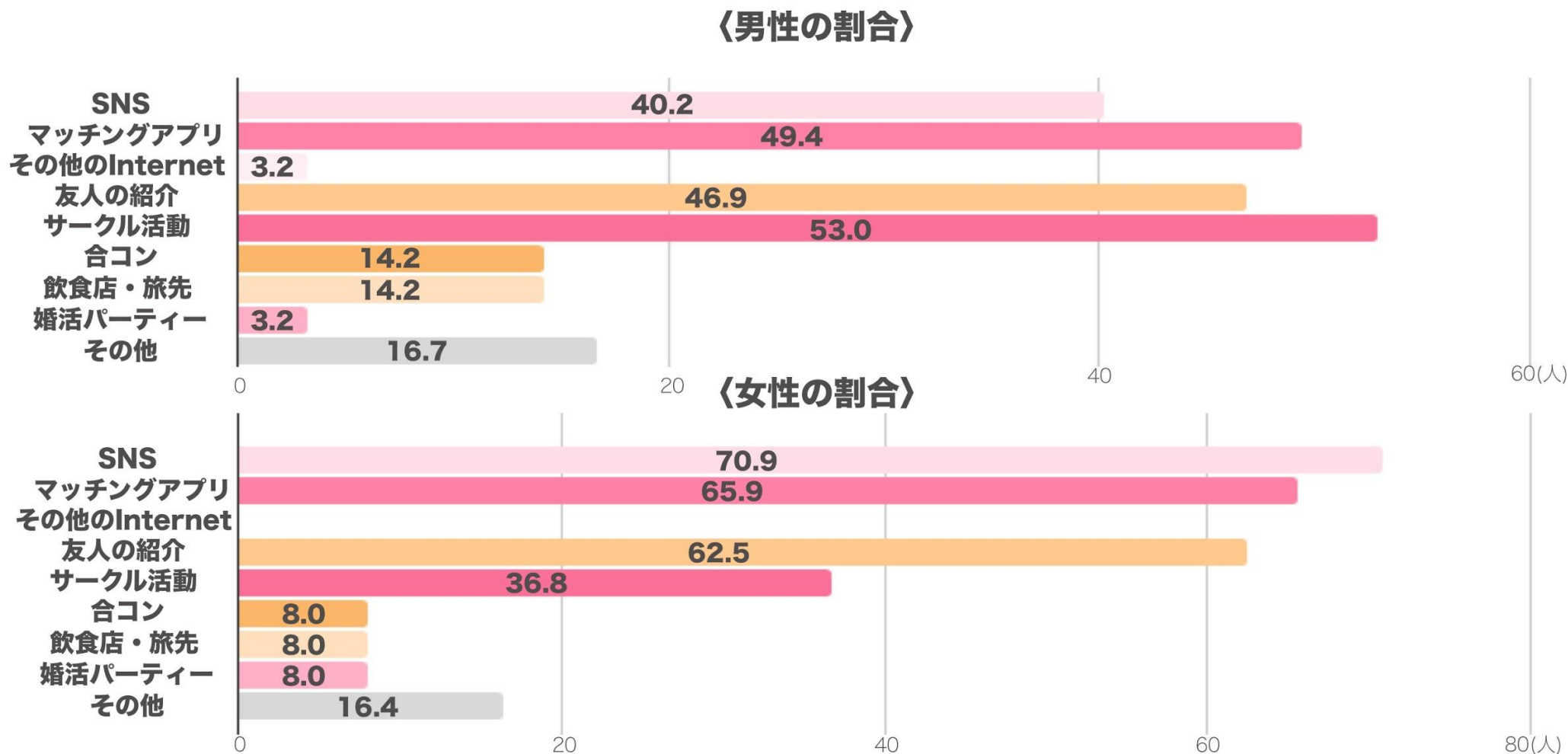
□職場・学校以外での出会い方

〈全体の割合〉



◇若者の恋愛傾向：職場・学校以外での出会いのきっかけ〈男女別〉(複数回答/n=786.3)

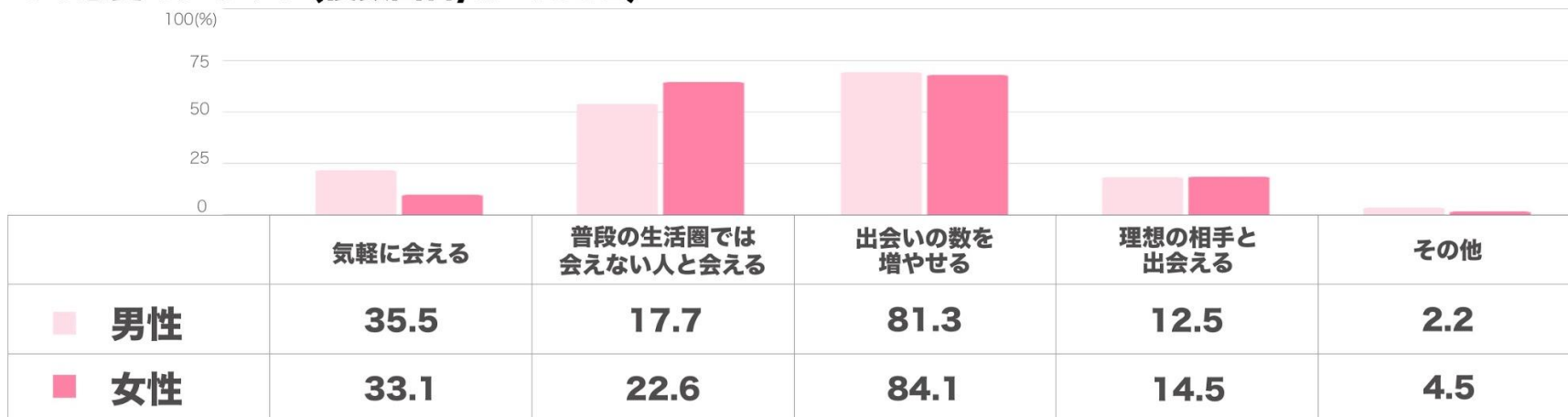
- 男女で顕著な差は見られないものの、SNSでの出会いは女性が70.1ポイントと男性に比べて30ポイント近く多い
- 男性は女性と比べ、「旅先」「合コン」などの初対面の出会いから恋愛に発展する傾向にある



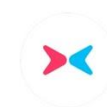
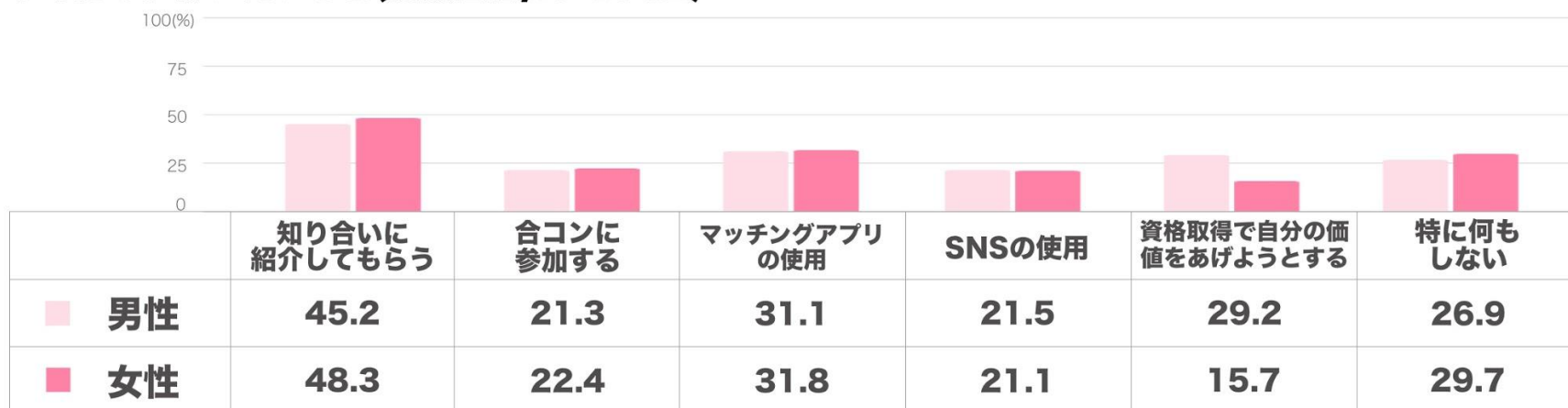
◇若者の恋愛傾向：ネット恋愛のメリット

- 「出会いの数を増やせる」が最も多く68.7%、次点は「普段の生活圏では出会えない人に会える」で59.3%
男性は女性と比べ、「気軽さ」を求めている傾向が見られる
- 「ネットの使用」が半数近くと最も多く、その中で一番多いマッチングアプリの使用は男女共に31%台

ネットでの恋愛のメリット(複数回答/n=1002)

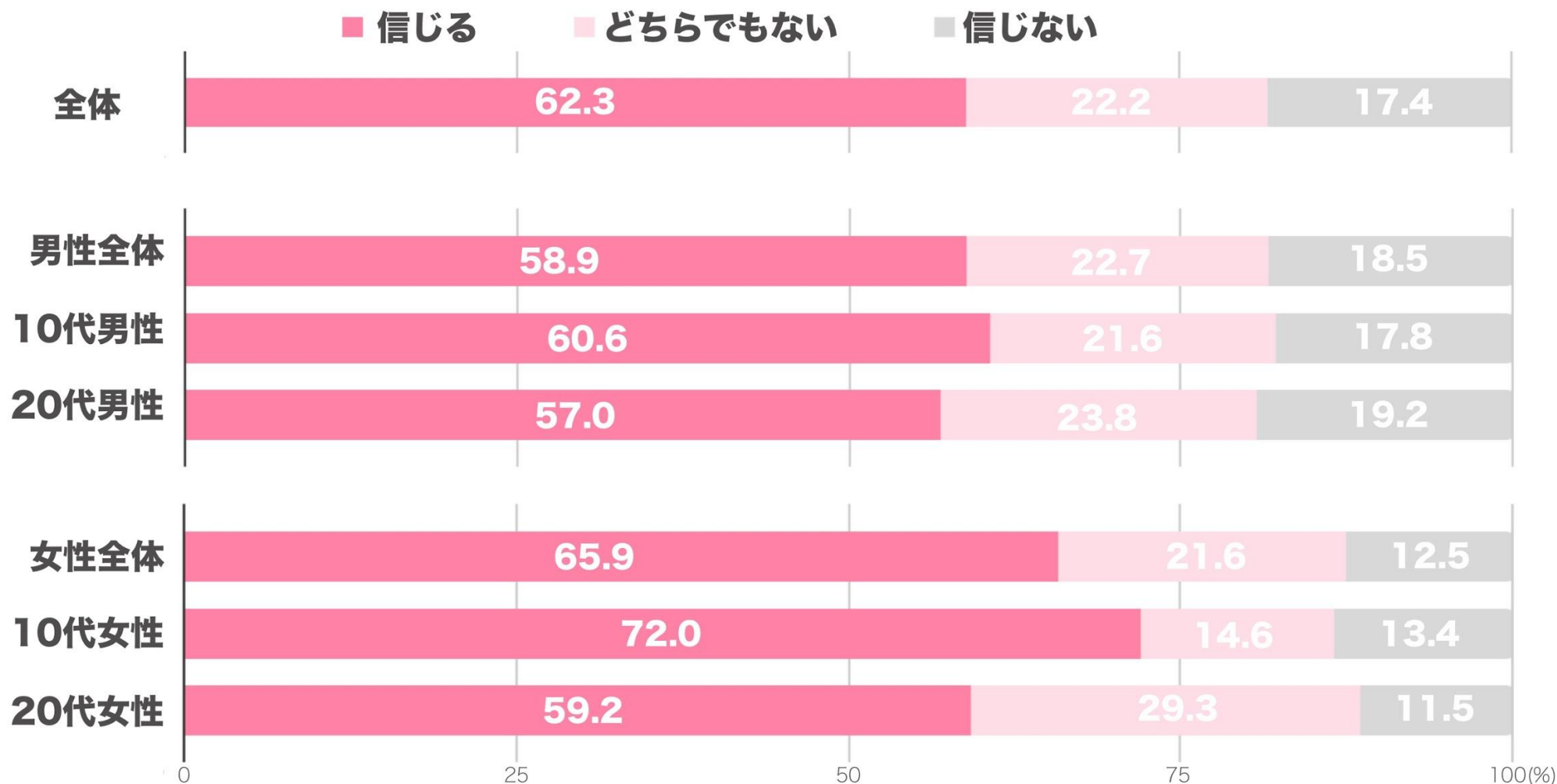


恋人作りのために行いたいこと(複数回答/n=1002)



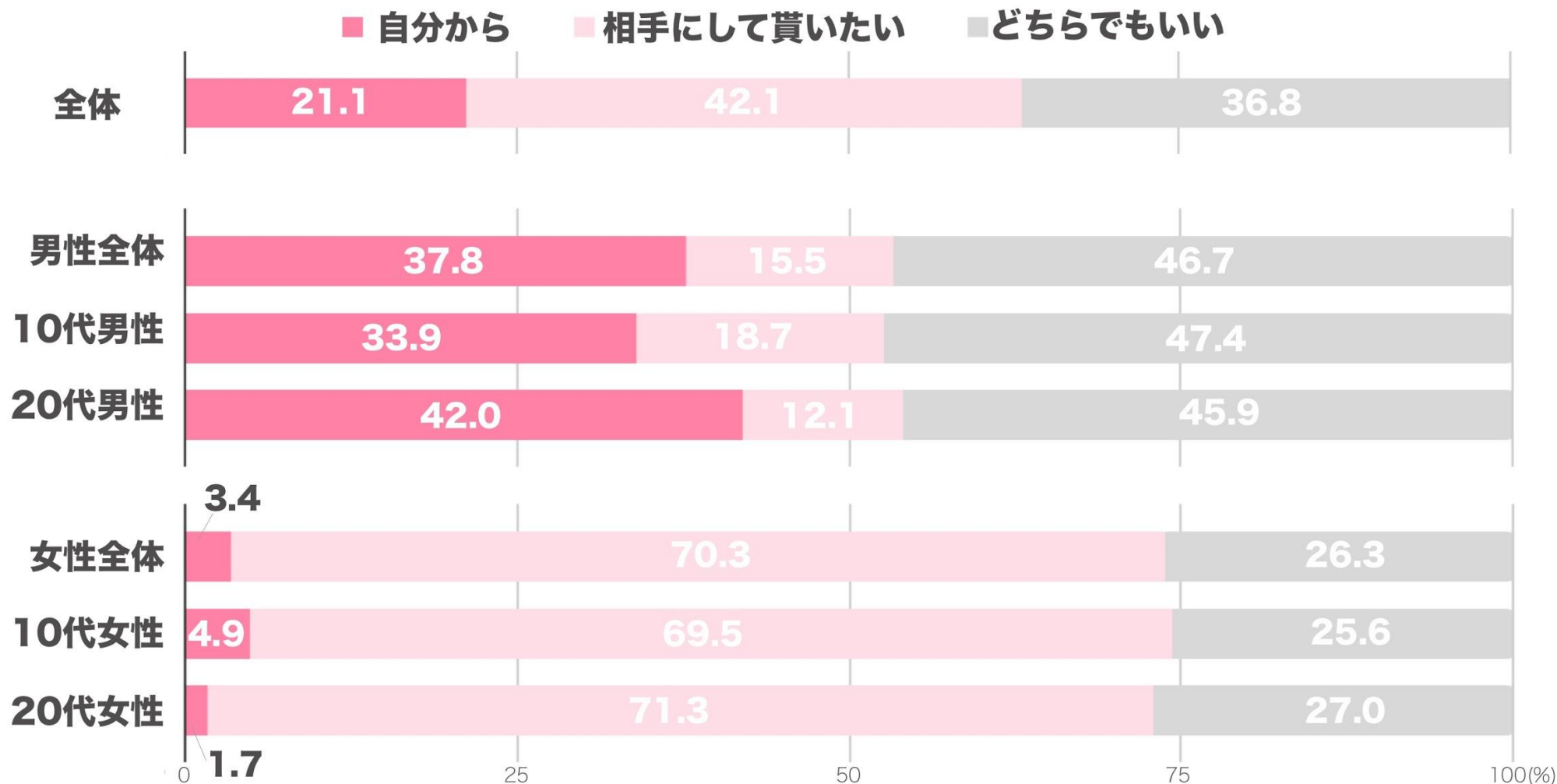
◇若者の恋愛傾向：恋愛で運命を信じる割合(単一回答：n=1002)

- 運命を信じる人の割合は全体で62.3%
- 女性の方が運命を信じる傾向にあるが、10代女性の72.0%に対し、20代女性は59.2%と、世代間で運命を感じる割合に10%以上の差が見られる



◇若者の恋愛傾向：告白の主体に関する拘りについて(単一回答：n=1002)

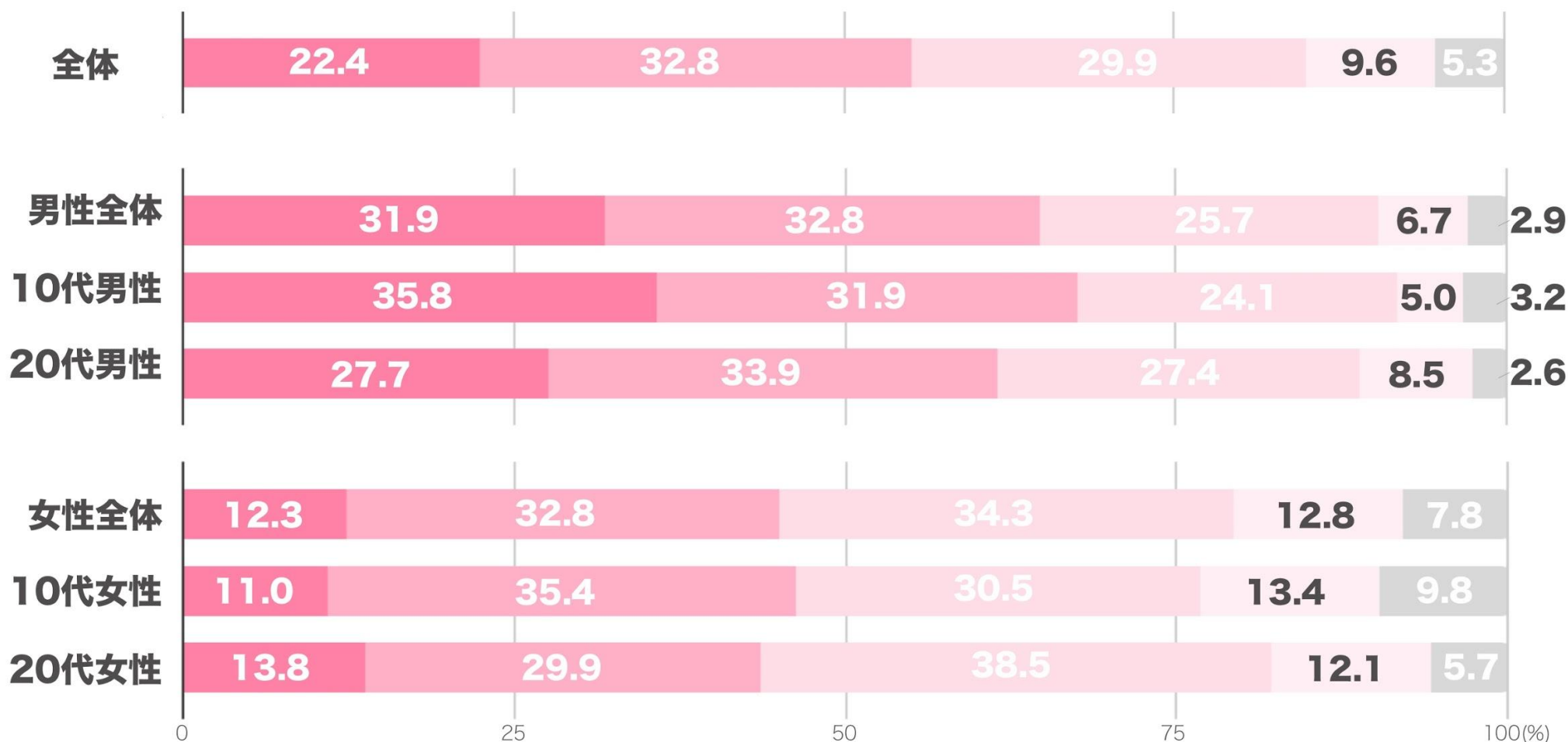
- 告白の主体に関しては性別間で大きく異なる傾向にある
- 男性は告白に関して「自分からしたい」「どちらでもいい」が大半を占める一方で、女性は「相手からして欲しい」と思う人が70.3%となっている。



◇若者の恋愛傾向：恋人がいる方が幸せだと思う人の割合(単一回答：n=1002)

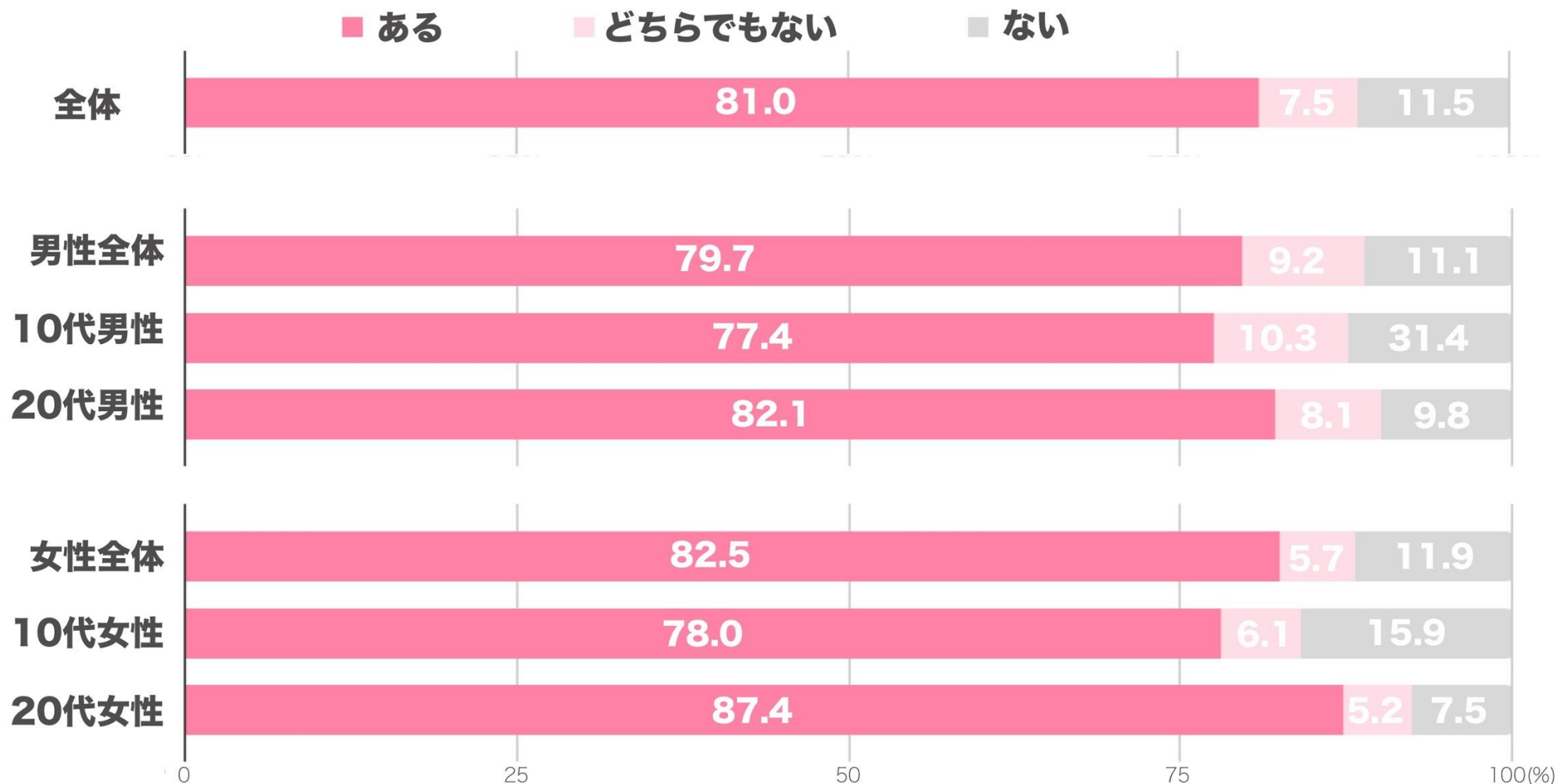
- 恋人がいる方が幸せだと思う人の割合は全体で55.2%であり、幸せでないと回答した割合は14.9%となった
- 男性の方が、女性と比べて平均19.6ポイント恋人がいた方が幸せだと感じる傾向にある

■非常にそう思う ■多少そう思う ■どちらでもない ■そこまで思わない ■全くそう思わない



◇若者の結婚観：結婚したいと思ったことがあるか(単一回答：n=1002)

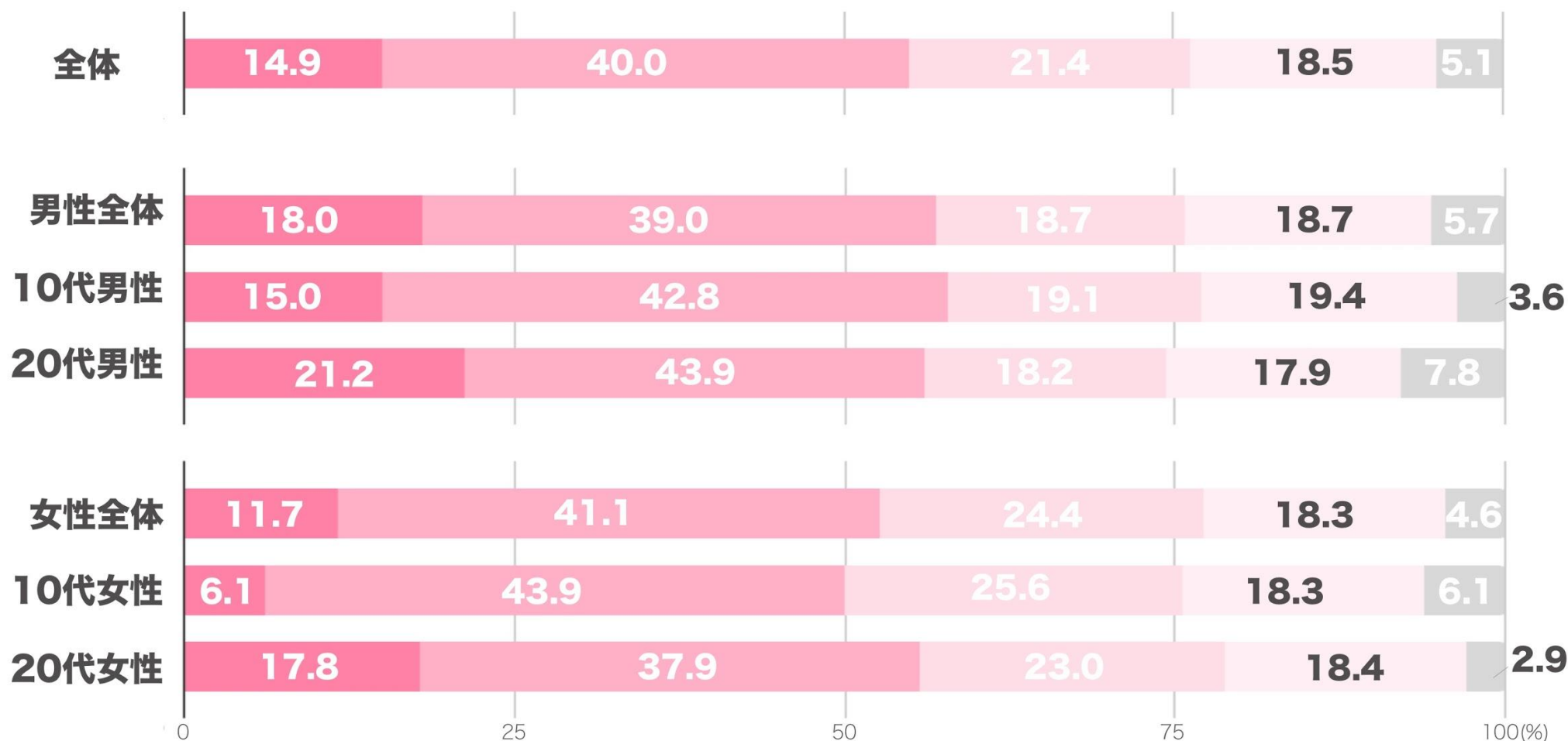
- 全体の割合は81.0%と高く、特に20代男性は87.4%と最も高い数字となった
- 男女共に、年を重ねるにつれて結婚を考える人の割合が増えている



◇若者の結婚観：結婚できると思う人の割合(単一回答：n=1002)

- 「結婚できる」と思っている人の割合はどの世代、年齢でも5割を超えており、10代男性：57.8%、20代男性：56.1%、10代女性：50.1%、20代女性：56.1%である

■ 非常にそう思う ■ 多少そう思う ■ どちらでもない ■ そこまで思わない ■ 全くそう思わない



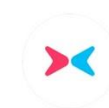
◇若者の結婚観：結婚したい理由/結婚したくない理由

- 結婚をしたいと感じる理由の多くでは男女間に大きな差は見られないものの「子供が欲しい」に関しては男女間で30ポイント以上も差が見られた
- 結婚を考えない理由で最も支持を集めたのは「まだ若いから」で、男性57.0%、女性69.4%であった

結婚したいと思う理由(複数回答/n=940.4)



結婚を考えない理由(複数回答/n=357.0)

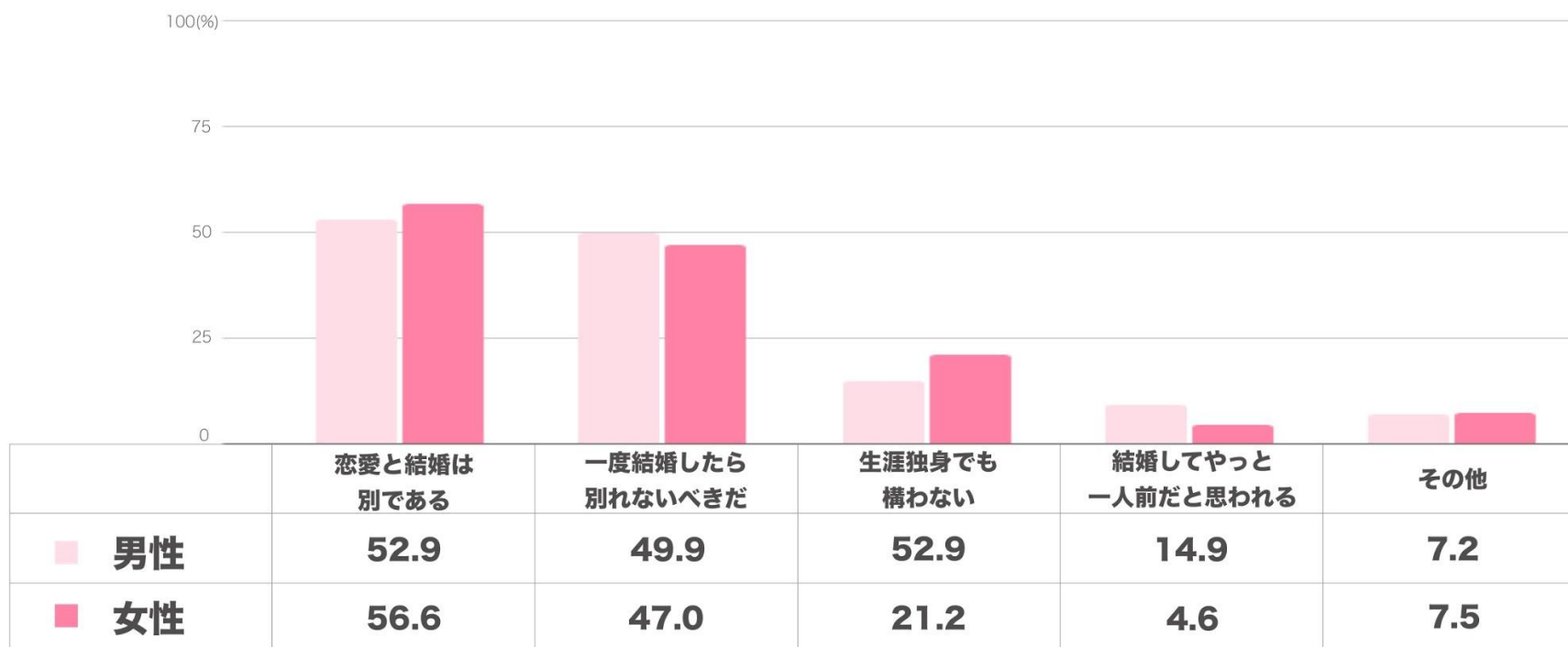


出会いをナビゲーションする

マッチングアプリ **なび**

◇若者の結婚観：結婚に関する価値観について(複数回答/n=1002)

- 「恋愛と結婚は別」と考える傾向が男女共に最も高く、男性52.9%、女性56.6%
- 「一度結婚したら別れないべき」と答えた人が男女共に半数を切り、「離婚」をタブー視する傾向は見られない



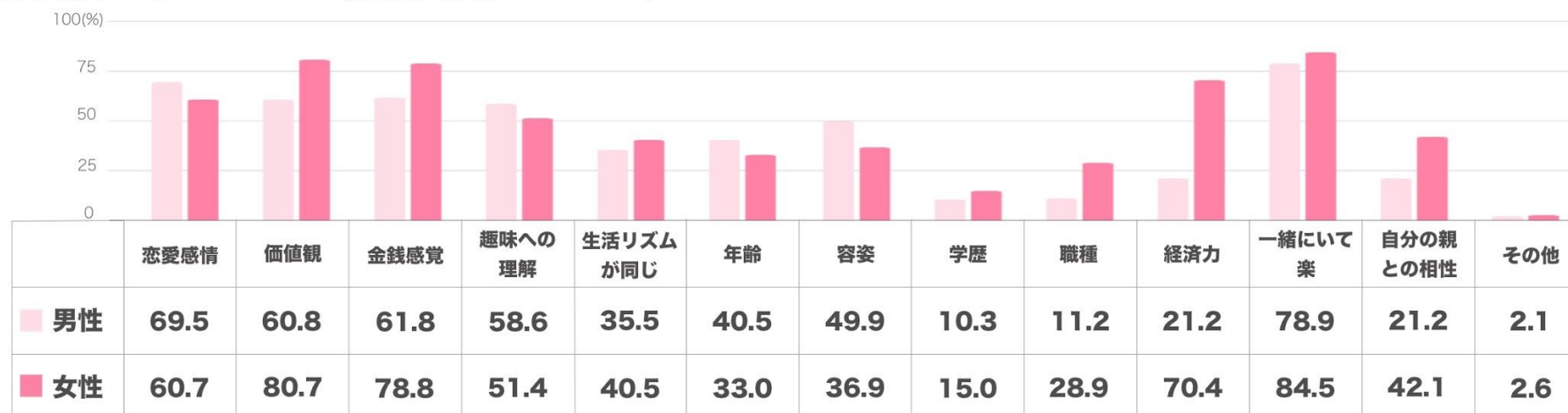
◇若者の結婚観：恋愛と結婚の違い

- 恋愛も結婚も「一緒にいて楽」であることも求める傾向にある(恋愛：82.0%、結婚：81.7%)
- 結婚に求めることでは、「経済力」「自分の親との相性」など、より現実的な側面が重要視される傾向が見られる

恋愛観：恋人に求めたいこと(複数回答/n=1002)



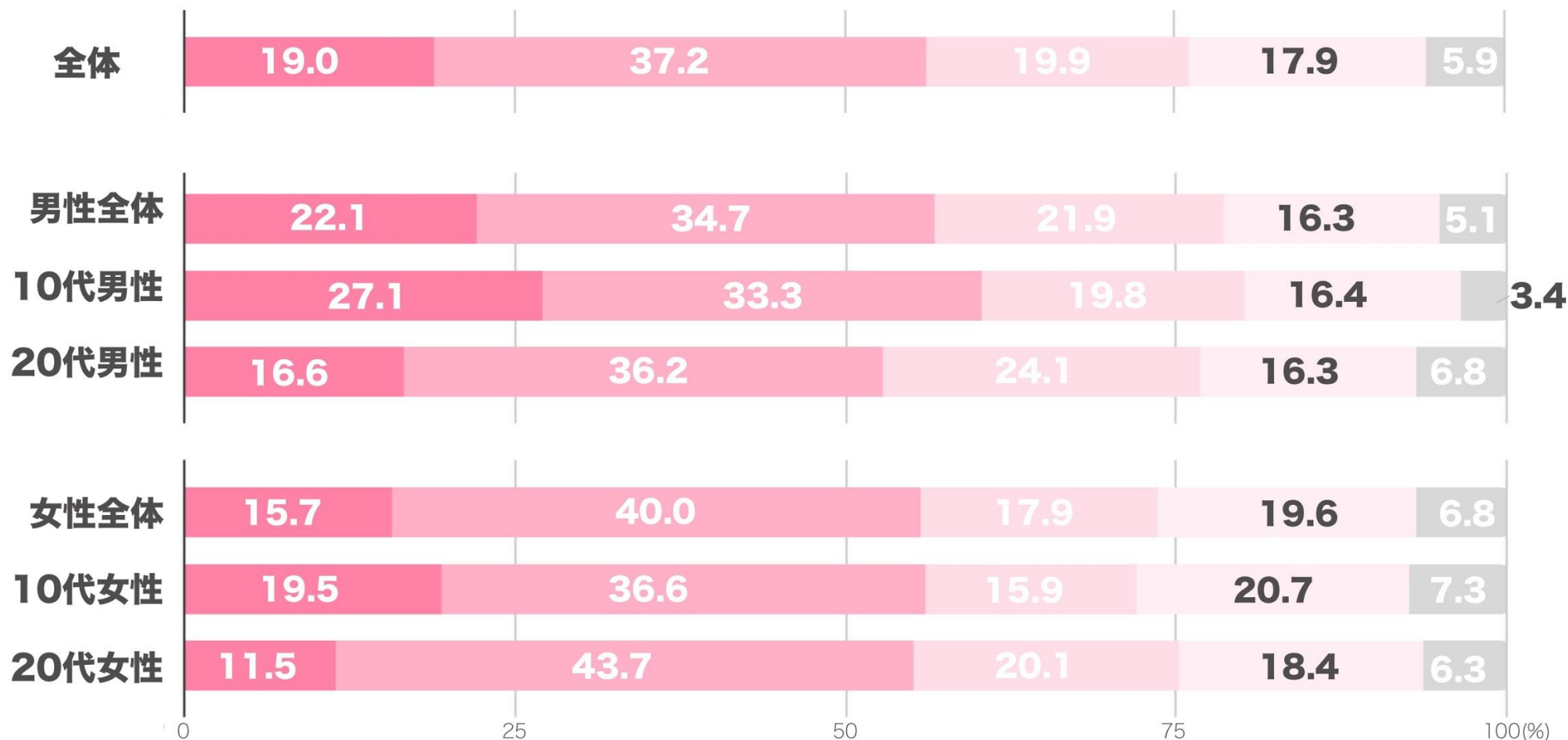
結婚観：結婚相手に求めたいこと(複数回答/n=1002)



◇若者の結婚観：結婚は人生最大の幸福だと思う人の割合(単一回答：n=1002)

□結婚を「人生最大の幸福」だと考える人はどの年代でも半数を超えており、10代男性が最多で60.4%

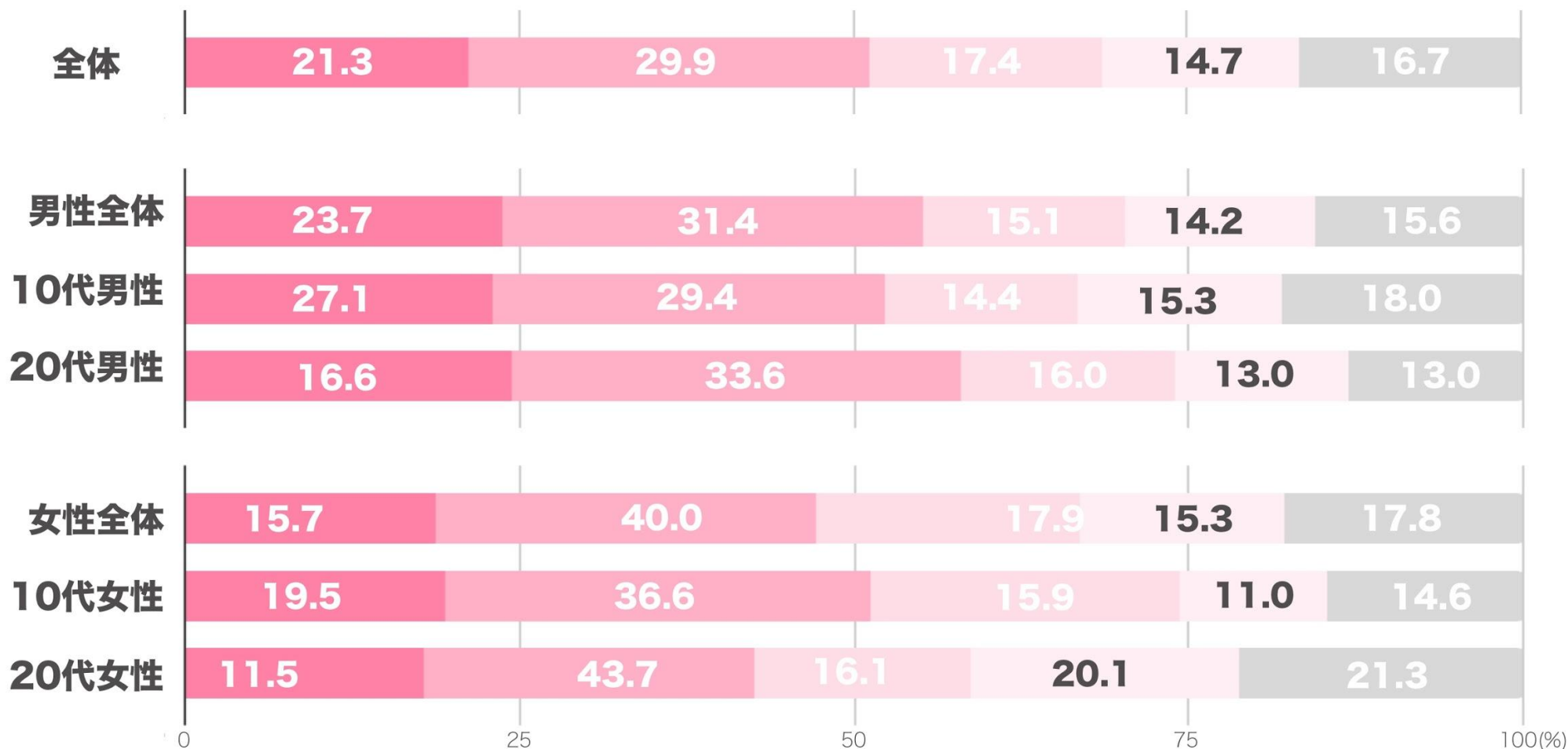
■非常にそう思う ■多少そう思う ■どちらでもない ■そこまで思わない ■全くそう思わない



◇ コロナが恋愛に与えた影響：コロナで恋愛はしにくくなったか(単一回答：n=1002)

- 恋愛をしにくいと感じる人は全体で51.2%で、20代男性が最も多く58.0%
- どの性別、年代でも「恋愛し辛い」と感じる人は5割を超えている%

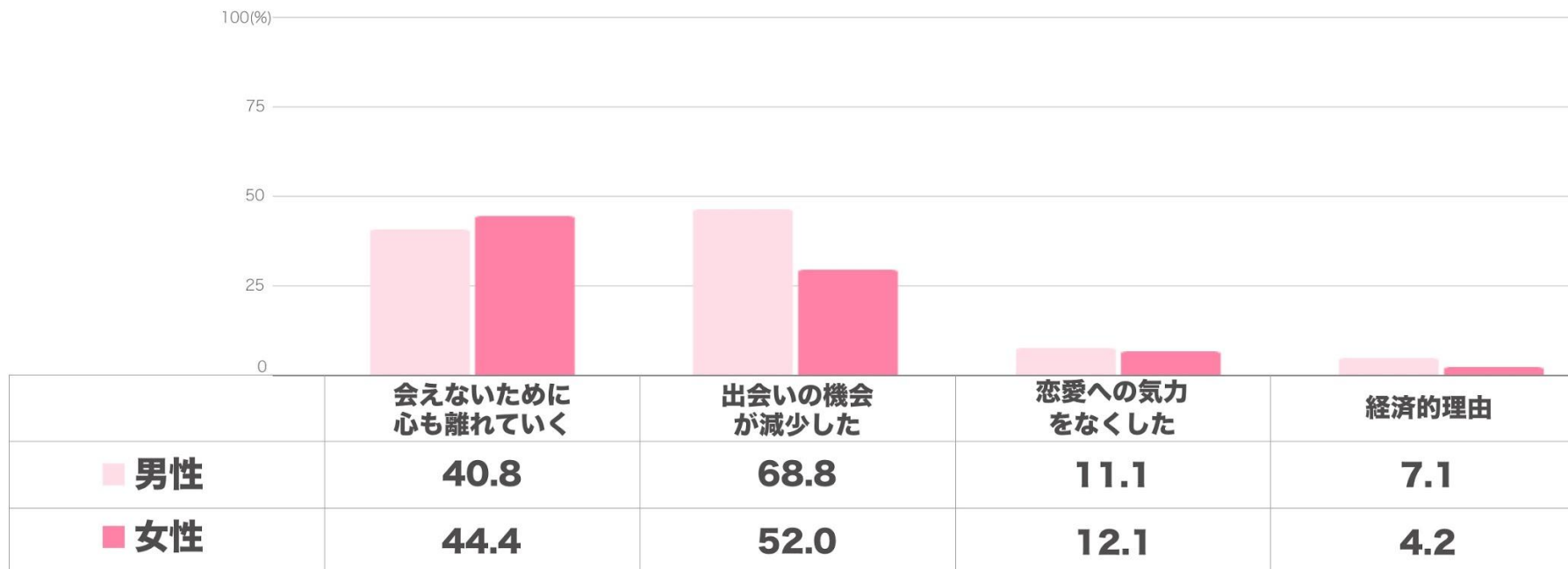
■ 非常にそう思う ■ 多少そう思う ■ どちらでもない ■ そこまで思わない ■ 全くそう思わない



◇コロナが恋愛に与えた影響

- 最も多いのが「出会いの機会の減少」60.4%であり、男性は68.8%
- 経済的理由を挙げる人の割合は5%台と少なく、コロナの影響は「行動面」に表れていると考えられる
- コロナで「恋愛しにくさ」が減った人の割合は4.6%

コロナで恋愛がしにくいと思う理由(複数回答/n=622.6)



コロナ以前に比べ、恋愛をしたい気持ちは増えたか(単数回答/n=1002)

